

文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業（実証事業）」

## 自立を目指す女性のための“学び直し”を通じたキャリア支援事業

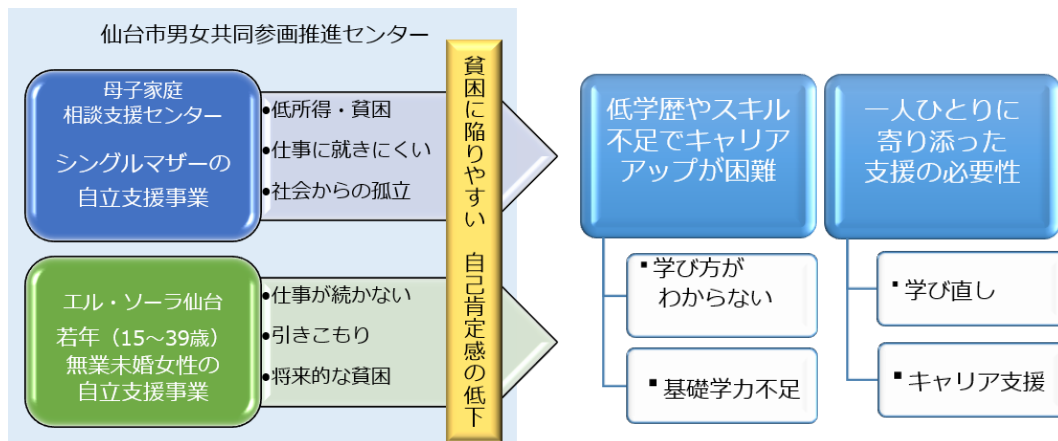
公益財団法人せんだい男女共同参画財団

### 1. 事業の概要

伴走型の学習支援による学び直しを通じた基礎学力の向上と、性別役割分担に偏らないキャリア支援を実施し、社会参画・就業等の選択肢を広げ、女性の再チャレンジを支援する。

学び方を学び、学び直しを行い、達成感や学ぶ楽しさを実感することで自己肯定感を向上させるとともに、自走する力を身につけ、生き方を選択し、何度でも自らチャレンジできる力を養う。

### 2. 事業の背景・課題



### 3. 事業の流れ

○参加申込

↓

○ガイダンス 自己肯定感等の測定（チェックシート活用）

↓

○キャリアカウンセリング（キャリア目標設定）

↓

○学習カウンセリング — 学力レベル測定（学習目標設定）

↓

↓ 学習カウンセリングを通して決定した学習計画により、個別の学習支援を行うと共に、

↓ 適宜キャリアカウンセリングを実施 自己肯定感等の測定（チェックシート活用）

↓

○キャリアカウンセリング

↓

○振り返り 自己肯定感等の測定（チェックシート活用）

学力成果測定

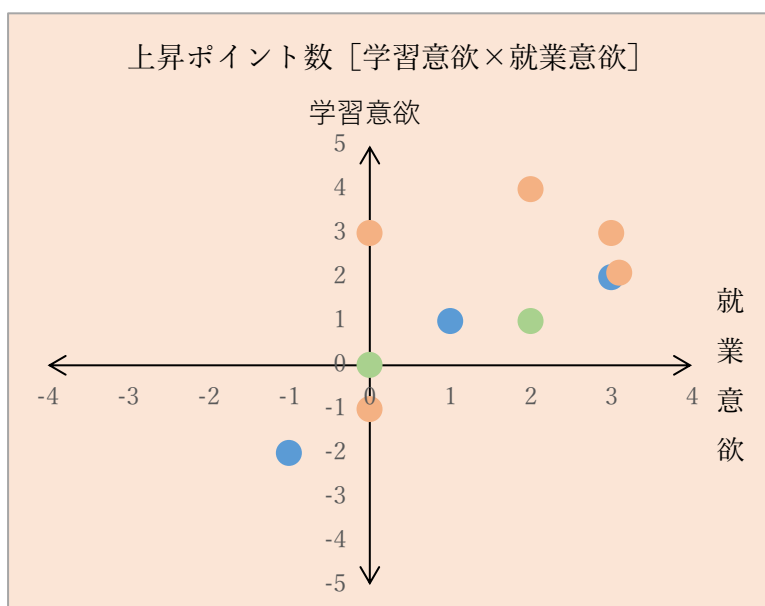
#### 4. 実施状況

対象	高校中退、中卒者等、10代で十分な学びの経験を得ることができず、就職活動においても影響を受けている、就業・転職等を目指す女性
参加人数	13名（うち託児利用者2名）
年代	10代：1名、20代：2名、30代：7名、40代：2名、50代：1名
属性	母子家庭：6名、若年無業未婚（ガールズ）：5名、有配偶：2名
最終学歴	中学卒業：2名、高校中退：3名、普通高校卒業：6名、通信制高校卒業：2名
現在の就業状況	就業者：3名、求職中：4名、求職準備中：6名
キャリア目標	就業・転職に向けた資格取得：1名、就業・転職に向けたスキルアップ：5名、学歴の向上：3名、地力の向上：4名
学習科目※	国語（漢字・文章理解含む）：8名、算数・数学：7名、英語：4名、理科：1名

※複数科目受講者あり

#### 5. 学習意欲・自己肯定感・就業意欲の変化

各参加者の学習意欲・自己肯定感・就業意欲が事業を通してどのように変化するか、チェックシートの点数（学習意欲：20点満点 自己肯定感：40点満点 就業意欲：20点満点）の推移を検証。事業実施前、事業終了後、その中間点で測定（事業終了後は未実施）。



- 事業実施前と中間実施分を比較すると、学習意欲と就業意欲に相関関係が見られる。（グラフ参照）
- 自己肯定感が上がった人は10名中7名で、学習意欲の上昇との相関関係が伺われる。
- 事業実施前の総点数を見ると、母子家庭の母の点数が高く、若年無業の独身女性（ガールズ）の点数が低い傾向がある。
- 総点数が下降した2名は、本人や子どもの体調不良等により、個別学習を数回キャンセルしている状況がある。
- 自己肯定感の上昇ポイントが大きい人は、キャリア目標が明確であり、学習の目的を意識して取り組んでいることが伺われる。
- 学習意欲と就業意欲が上昇しているが、自己肯定感が下降している人は、測定実施時点でキャリア目標が定まっていない状態であった。